

| 小節 | 練習曲と留意点 | 備考 |
|----------------|--|-------------------|
| かきつばた | | 市民合唱祭(3/29) |
| 全般 | ①pp があちこちに出てくるが、いずれも“弱く小さく”だけでなく唇に緊張感をもって(ただし、唇を大きく開けずに) ②p→pp への変化を意識して(聞いている人に伝わるように) | 全 |
| 1～2 小節 | “やながーわのー”は全体をつないで滑らかに(特に“な”→“がー”の音の変化が階段状にならないように) | 全 |
| 4～5 小節 | “かきつーばたー”のタテの線を揃えて(特に、“ばたー”を) | 全 |
| 5～11 小節 | “ひるはオングのてにかおり”のことばが伝わるように | 全 |
| 12～13 小節 | p が大きくなならないよう抑えて。13 後半からの cresc. に備えて | 全 |
| 19 小節 | “けえつぐり…”への入り(けえ)を小さ目に | Br・Bs |
| 23～29 小節 | poco a poco cresc. はもう少し膨らませて | 全 |
| 29～32 小節 | 5～11 小節と同じく、ことばが伝わるように。ただし、f で | 全 |
| 36～42 小節 | (音量に注意)mp で入って、39 小節から dim. して終りは pp に | 全 |
| 時代 | | 市民合唱祭(3/29) |
| 4～6 小節 | “もう二度とーえがお…”の符割りのピアノを聞いて確認(“二度”の“度”を短く、“二度とー”の“とー”も短く) | 全 |
| 8 小節 | “どー”の発声を胸に落とさずに明るく。口の奥を開けて | 全 |
| 11～18 小節 | 2 小節ごとの音節はノンブレスで(8 分休符でブレス) | Br・Bs |
| 27～28 小節 | “きょうは(っ)わかーれた…”の二度目の“わ”を言い直して | 全 |
| 37～38 小節 | ジャズジャズジャズジャズジャズのピアノを聞いてラ♭の音取りに慣れるように。ラ♭→シ♭→ドへと <u>一音ずつ</u> 思い切り上がって | T1 |
| 38～41 小節 | ①Hum は p を持続して。弧線(スラー)の中ではブレスなし ②42 小節からの長い cresc. につないで | T2・Br・Bs |
| 44～45 小節 | “…かわってーあるきだーすよ”の“き”の音(ソ)に下がって | T1 |
| 47～49 小節 | “わかれと…くりかえーし”のことばをハッキリと | 全 |
| 52 小節 | “…変わーって // ブレス // あるき…”とブレスを入れて | 全 |
| 琵琶湖周航の歌 | | |
| 全般 | 曲を通して“きれいな”声で(頭声で明るく) | 全 |
| 13～16 小節 | 出だしの mp を抑えて、15 小節からの cresc. で 17 小節の f に | 全 |
| 62～64 小節 | rit. を少し早めて 62 小節の頭から | 全 |
| 無縁坂 | | |
| 全般 | タンタンタタターンのリズムが間延びしがち。キチンと刻んで(ピアノ伴奏にはシンコペーションがない。ターンターン) | 全 (特に、出だしの Bs) |
| 23～30 小節 | 強弱の変化(23～26 小節 : mf > p → poco apoco cresc. → f) (27～30 小節 : f > mp → poco a poco cresc. → f) | T1・Bs |
| 36 小節 | “ぼくの…”の“ぼ”は明るく | |
| 海、その愛 | | |
| 28 小節 | “うみよー”の“よー”の発声が胸に落ちないように | 全 (つづく) |

| | | |
|------------|---|---|
| 30～31 小節 | “おとーこのーおもーいをー” は f で一気にノンブレスで | 全 |
| 40～41 小節 | 転調の練習 | 全 |
| 夜の霰 | | |
| 全般 | 1～2 小節 “タンタタンタンタン” のリズムを急がないように (19～22 (～24)、32～35、44～47 小節も同じく) | 全 |
| 15～18 小節 | 二度目の “さあーっとー” のラの音程にシッカリ上がって | |

* 歌い方は歌い込みとともに改善されるものなので最新のテキストを優先してください。

T1：市村